

平成30年2月21日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

議会広聴広報特別委員会ICT小委員長 蒲生 哲

平成29年度 管外行政視察報告

議会広聴広報特別委員会ICT小委員会の管外行政視察の概要は、下記のとおりでありますので報告します。

記

- 1 期 間 平成30年02月01日(木)から
平成30年02月02日(金)まで

- 2 視 察 地 ①東京インタープレイ株式会社
及び研修項目 ・自治体向けICT推進セミナー
タブレットから始まるICT化と「開かれた議会」
②市政会館
・一般社団法人 行政情報システム研究所
行政情報化に係る調査研究について

- 3 出席委員等 小委員長 蒲生 哲
副小委員長 畠山 恵美子
議会広聴広報特別委員会
委員 中野 貴徳
随行 局長補佐 菅野 洋
書記 佐藤 直樹

- 4 行政視察概要 別紙報告書のとおり

議会広聴広報特別委員会 ICT小委員会研修視察報告

議会広聴広報特別委員会 ICT小委員会は、東京都港区東新橋 1-9-1 東京インタープレイ株式会社において、自治体向け ICT推進セミナー タブレットから始まる ICT化と「開かれた議会」に参加し、次の項目について研修を受けた。

- ・安城市議会 坂部隆志議員

特別講演「議会 ICT化と「開かれた議会」への展望」

- ・ソフトバンク株式会社

共催起企業講演「議会における ICTソリューションの案内」

- ・東京インタープレイ株式会社

講演「SideBooks と全国事例の紹介」

○タブレットから始まる ICT化と「開かれた議会」

1 議会 ICT化と「開かれた議会」についての講演

愛知県安城市議会の坂部隆志議員より「議会 ICTへのチャレンジ」と題して導入に至るまでの経緯と推進における考察を伺った。

論点整理 1：議会 ICT化の目的

(1) 議会運営の効率化

ペーパーレスの推進、印刷、製本、差し替えなどの事務作業の軽減による業務スピードの向上など。

(2) 議会の見える化・魅せる化

議会のライブ中継、ICTの活用による議会情報の積極的公開や、分かり易い議会運営および議会の魅せる化のための大型スクリーン導入、説明資料および持ち込み資料の電子化など。

(3) 危機管理体制の強化

災害情報の共有、情報伝達の迅速化、伝達手段の多様化、議会BCP整備など。

(4) 議会の活性化及び議員の資質向上

情報伝達の迅速化、議会スケジュールの共有による事務作業の確実性の向上、エビデンス性の確保、情報ソースの拡大、市民への迅速な情報公開実現など。

論点整理 2：議会 ICT化推進の主な効果

- (1) ペーパーレス、作業の効率化による業務スピードの改善

(2) 市民からの相談対応能力の向上

(3) 市民からの議会運営に対する満足度の向上、信頼度向上による議員活動のしやすさが市民生活の向上に繋がる。

(4) 議会・議員の見える化、活性化（ユビキタス、オンデマンド、モバイル）

市執行部との意見交換、推進体制の検討

企画課、経営管理課、情報システム課を交えて様々な提案をしてきたが、議会との温度差は明らか。庁内全体での業務プロセス改革、業務の効率化、スピード化、付加価値の創造、分かり易い市民への行政情報公開、オープンデータ化、市執行部からは前向きな回答はなく、議会単独でのICT化へシフト。

ICT利用規約などのルール化

タブレット端末を持ち出して議員活動を行うことが前提であり、議会・庁舎内だけでなく行政視察や所管事務調査等、普段の議員活動で利用することから、常に携帯することになる。そのため、必要最低限の約束事を取り決め、端末の初期設定は行うが、議員個々で必要なソフトウェアのインストールを行い、議員活動と無関係な用途に用いることは禁止しているとのこと。また、議会中における録音、録画、音を出す、外部とのやり取り等の行為は禁止している。市民への説明は自己責任

2 ソフトバンク(株) 「議会におけるICT活用ソリューションの御提案」

ソフトバンク(株)より、タブレット端末導入に係るリース契約ができるのは主要キャリアのうち、ソフトバンク(株)1社のみであることの説明を受けた。

3 東京インタープレイ(株) 「SideBooks と全国事例の紹介」

議会、行政に浸透するタブレットとICT活用（ペーパーレス会議、議員活動、業務連絡、災害対応）に関する機能の説明を受けた。

4 所感

議員主導でのICT推進及びICTが苦手な議員をターゲットにした推進体制が重要だと感じた。また、ペーパーレス会議だけに注目せずに、ICT化のメリットを全体的に検討し、議員同士でも操作講習会を実施するなど、全議員のスキルを底上げする、議員同士で教え合う風土が必要だと思料する。

タブレット化において市民にとっての有益性は、資料のデータ化が進むことによる情報公開、タブレットを使用することによって市民への説明がより具体的になり、よりの確に市民に理解して頂けることである。議員にとっては、膨大な資料のなか

からの検索が瞬時に可能となるため、資料の掘り起こしがスムーズに進み、かつ、資料の読み込みが深くできるゆえ、議員の質疑の幅が広がっているとの報告であった。つまり、タブレットは「議会図書」の機能をも有している。一方で、見比べやセキュリティの面を懸念する意見もあると思うが必要な部分を必要とする者が自らプリントアウトしたり、セキュリティについて多くの実績を有する事業者への委託などにより払拭できると考える。

今後導入するにあたっては、システムの簡易さと便利さ、セキュリティとバックアップ体制の充実した事業者を選定する必要があると思料する。他の視察に際し、ICTについての状況を聞いてきたが、それぞれ既存のシステムやハードを活かそうとして導入したが、使い勝手の悪さや応用性の低さにより活用度が低かったり、システムの入替えを検討するなど、手間と予算が無駄にかかった話も耳にした。少しでも余計な出費を抑える意味でも、より実績のあるハードソフトの導入が大切であり、それを活用する者の考え方も、柔軟に対応することが必要である。

インターネットを使い外部との交信ができることや議員活動の範疇における活用範囲の問題など、考えられることはあるが、議員個々の責任において有効活用し、メリットを享受していくべきではなかろうか。

○ 行政情報化に係る調査研究について

行政情報化を専門に調査研究している一般社団法人 行政情報システム研究所において視察を行った。

1 概要

IT技術の進歩に伴い、行政も総合行政ネットワーク（LGWAN）を活用した自治体間通信による高度なセキュリティでの行政間の連絡や、ホームページでの情報発信、防災情報メールによる災害情報の一斉送信等、ICTを活用した様々な取組を行い、情報化社会における情報管理の徹底及び市民への情報公開、情報提供に努めている。

2 所感

セミナーで講義を受けた「開かれた議会」のさらなる発展のためにも、また、市民に対してよりわかりやすく、きめ細やかな情報提供ができるよう、本小委員会において引き続きICTに係る調査研究等の情報を収集し、議会として、議員としてどう活用できるか検討する必要があると感じた。

【参考】用語解説

- ・ソリューション

企業が抱えている問題や不便さを解消すること及びそのためのシステムなど

- ・エビデンス

証拠・根拠

- ・ユビキタス

情報通信技術を利用していつでもどこでも簡単に所望する情報が得られるさま

- ・オンデマンド

要求に応じて必要なデータを送ったりサービスを提供したりすること

- ・SideBooks

東京インタープレイ株式会社が提供するファイル閲覧アプリ。仮想本棚として自分好みにファイリングし陳列できるうえ、メモ機能、しおり機能、検索機能も併せ持つ。